

新年賀詞交歓会

1月6日に東京プリンスホテルで恒例の新年賀詞交歓会が盛大に開催されました。会員各社のトップのみならず、産官学から多数の関係者が出席しました。

主催者を代表して、水嶋会長から「2015年は、アベノミクス第2ステージにおける新「三本の矢」が打ち出されました。第4次産業革命に向けた投資として、IoT、AI、ビッグデータも取り上げられ、安倍総理のリーダーシップのもと、これら当業界の関心分野においても、着実に前に踏み出すことができた一年でなかったかと思います。



水嶋会長

「強い経済」の実現に向けて、国際的な競争環境における視点でのイコールフットリングは極めて重要です。今回、税制では「成長志向の法人税改革」として、政府・与党において、法人実効税率20%台への引き下げが前倒して盛り込まれました。また通商ではTPP大筋

合意とWTO/ITA品目拡大の最終妥結という大きな進展がありました。今後も、戦略投資を後押しする税制や経済連携の更なる深化など、日本企業の国際競争力の向上にむけた環境整備を進めていただきたいと思います。

また昨年はIoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスの動きが具体化した一年でした。当協会においても、昨年はCPS/IoTの社会実装を見据えた事業活動に大きく舵を切りました。具体的には、7月に「CPS社会実装検討タスクフォース」を設置して、会員企業の皆様のビジネスチャンス拡大に向け、環境整備を積極的に進めております。また昨年10月に立ち上がった「IoT推進コンソーシアム」にも参画し、政府が進めるIoT政策にも積極的に協力して進めてまいります。

今年は、我々業界もCPS/IoTを成長エンジンとして、日本の経済の確実な再生にむけて力を尽くすとともに、データ流通が促進される環境を整えてまいります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックにむけて我々IT・エレクトロニクス業界がしっかりとプラットフォームをつくり、日本の「稼ぐ力」に貢献できるよう、しっかりと臨んでまいりたいと思います。2016年は、CPS/IoTによる産業や生活



林経済産業大臣

の変革へ向けた元年になると認識しています。この一年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。」と年頭のご挨拶がありました。

また、来賓としてご出席いただいた林経済産業大臣からは、「アベノミクス下で、経済の好循環は着実に回りはじめており、官民一体となって日本経済を力強く成長させることが重要です。法人税20%台引下げ、TPP大筋合意など昨年は取り組んできましたが、今後は経済交渉の早期妥結、原発再稼働への取り組み、投資と賃上げなどに取り組んでいきたいと考えています。昨年10月に設立されたIoT推進コンソーシアムは、総務省と一体となって規制改革や新たなルール作りの形成などに取り組んでまいります。」と力強いお言葉をいただきました。



大勢の出席者でにぎわう会場